



女優
いすみまさこ
和泉雅子さん

■プロフィール
1947年 7月31日、東京生まれ
1957年 10歳で劇団若草に入団、子役として活躍
1961年 日活に入る
1963年 浦山桐郎監督の「非行少女」に主演、モスクワ映画祭で金賞受賞。以来、「絶唱」「光る海」など映画出演は百本を超える。
1968年 日活退社後、テレビ、舞台の第一線で活躍
1983年 テレビ東京のドキュメンタリー番組で南極に行く
1985年 北極点まで、あと148kmの地点で断念
1989年 5月10日、北極点到達

日本人女性で初めて北極点踏破に成功した、女優の和泉雅子さん。昨年四月、熊本女子商業高等学校の生徒十人を北極に招き、同十一月には第一回熊本県生涯学習フェスティバルで北極点踏破の体験を講演。「目的を持ちさえすれば誰でも頑張れる」が持論の和泉さん。その笑顔に接するだけで、もくもくとエネルギーが湧いてくるようです。

北極に教えられたのは、謙虚さ、頑張り、命の大切さ。

何もない世界に魅せられて

小学生の頃から、南極越冬隊に憧れていました。昭和五十八年、テレビ東京のドキュメンタリー番組で南極行きが実現したんです。何もない魅力、突き当たりのない景色に、びっくり。いっぺんで極地が好きになりました。

南極に行って感動したから、今度は反対の北極に行つてみようって。だつ

て、地球のてっぺんの景色って見たいじゃないですか。そんな子どもみたいな興味がきっかけ。困難だからこそ、おもしろそうだと（笑）。

お金で買えないものを 北極に教えてもらった

それからは無我夢中で、気がついた北極に到達できるところでリード（氷の割れ目）に阻まれ断念しました。ショックだった。でも、生きていればまた来れる。だから、今回はやめて帰ろうと。誰でも、目標を持てば頑張れるんですね。成功するかどうかは大問題じゃない。むしろ、いかに目的に向かって頑張ったかという過程が大事。一度の遠



水上キャンプを楽しむ、熊本女子商業高校の北極遠征隊



北極は、私の人生

熊本女子商業高校との縁は、校長先生が私の本を読んでお手紙をくださったことから。平成二年、創立五十周年記念の講演に呼ばれたんです。この学校が気に入ったのは、ほとんどの子が就職するってこと。ファッショングで大学に行く人が多い中、若い時期に社会に出て成長していくって立派。それに、ここの中学生たちは、人間としての基本がしっかりとしている。「お待ちしてました」「いらっしゃいませ」とてキチンと挨拶できる。いい学校なんだろうなあって、惚れちゃった。

実は、初回遠征の翌年から、ぜひ高校生を北極に連れて行きたいと考えていました。一番多感な時期の子どもたちが、あの世界を見てどんな反応をするのか、夢が膨らんで…。そこで、校長先生に「お宅の学校しかない」ってラブコールしました。

おもしろかった。一人ひとり個性があるんですよ。熊本の子たちは頑張り屋さん。なかなか諦めない。暖かいところの子たちなのに、寒さを楽しむんですから、たいしたもんです。

北極と関わることは、私にとって最大の趣味。それは目的もあるし人生もある。女優は、もちろん、一生の仕事。家族がほのぼのと見れるような作品を選んでやりたいと思っています。せっかく生きているんですけど、意義のあることをしたいんです。